

氏名	國澤尚子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	基礎看護学、看護人間工学				
学位	博士（工学）				
学歴	1985年埼玉大学教育学部、88年東京女子医科大学看護短期大学、97年筑波大学大学院教育研究科修士課程カウンセリング専攻カウンセリングコース、2009年博士（工学）取得（千葉工業大学）				
経歴	1992東京女子医科大学看護短期大学助手、98三重県立看護大学助手、99埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、2006埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科准教授、13医療生協さいたま地域社会と健康研究所副所長兼主任研究員、19埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授				
所属学会（役職）	日本看護技術学会（評議員）、日本人間工学会（第7期代議員、第21期関東支部委員）、看護人間工学会（評議員、総務委員）、日本看護学教育学会、日本看護科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会、福祉のまちづくり学会、産業保健人間工学会、日本健康教育学会（代議員）、日本公衆衛生学会、日本認知症ケア学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	新しいIPWを学ぶー利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携、第3章第2節 IPWのモデル、第9章第4節教育・実践・研究の融合と展望	共著	あり	中央法規出版株式会社;P306	埼玉県立大学編集（編集担当）	2022.4	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月	
1	急性期病院に入院する高齢患者の身体活動の促進を目指したプログラムに関する文献検討ー本邦における報告に焦点をあててー	共同	第27回日本老年看護学会学術集会（Web配信）	○丸山優，畔上光代，水間夏子， <u>國澤尚子</u> ，大塚真理子		2022.6	
2	認知症高齢者と家族の長期療養を専門職や住民で支える研修活動の実装と評価ーA町における2018年から2021年の取り組みからー	共同	第27回日本老年看護学会学術集会（Web配信）	○沢田淳子，出貝裕子，中込沙織，成澤健，徳永しほ，桂晶子，萩原健，丸山優， <u>國澤尚子</u> ，畔上光代，大塚真理子		2022.6	
3	人間工学の課題と展望ー人間工学戦略ロードマップ委員会ー	共同	日本人間工学会第63回大会、シンポジウム「未来に向けた人間工学」	○三林洋介，中本和宏，泉博之，大内啓子， <u>國澤尚子</u> ，高野倉雅人，茅原崇徳，松田礼，松田文子，吉村健志，渡邊裕		2022.7	
4	用具を使って楽に移動介助してますか！ーみんなでいっしょに普及活動をしようー	共同	日本看護技術学会第20回学術集会、交流セッション（オンライン）	○西田直子、○水戸優子、若村智子（司会）、○平田美和、○首藤英里香、○冨田川智志、 <u>國澤尚子</u> （司会）		2022.11	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月	
1	トイレの手すりの進化論：<現場レポート>手すりが壁から飛び出した！ー利用者の自立と介助者の軽減負担を目指してー	共同	回復期リハビリテーション病棟協会第41回研究大会、倉敷市（ランチョンセミナー）	○ <u>國澤尚子</u> 、○高石光雄、○城戸慶昌、○増野博之		2023.2	
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	腰痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの普及と実装		研究分担者	2020.4～2023.3		
2	共同研究（埼玉県立大学・ナカ工業株式会社）	在宅高齢者・障がい者の排泄を支援する住宅トイレ補助具の研究		研究代表者	2021.4～2023.3		

3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高齢者の外反母趾・浮き趾による転倒予防のためのエビデンスに基づく看護介入の効果	研究代表者	2021.4～2024.3
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高齢入院患者のmobilityを促進する急性治療期の看護実践プロトコルの開発	研究協力者	2021.4～2024.3

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	看護学原論		15	音響設備の状況により1～3教室で対面で実施した。事前学習をもとにしたグループワークを多く取り入れ、学生同士の交流を促した。その際、グーグルスライド、グーグルジャムボードを使用し参加したり整理しやすい工夫を行った。
2	IPW論	○	15	4教室に分かれて、対面で実施した。IPWの基本である他職種の理解、チーム形成、リフレクション、事例検討などを段階的に学ぶことができるように組み立てた。ゲストスピーカーによる講演、学科混合グループでのディスカッション、ポスター形式の発表を3回転させてするなど工夫して授業を実施した。
3	看護学教育論（大学院）		2	中堅看護師の実践能力育成とキャリア支援の現状と課題について講義した。受講者の教育計画立案・評価・模擬講義の指導を担当した。毎回授業に参加し、受講生とディスカッションをした（すべてオンラインで実施）
4	IPW論（大学院）		12	チーム・チームワーク、IPWの評価について講義し、学生によるIPWに関する事例発表のコメントーターを担当した。（すべてオンラインで実施）
5	IPWシステム開発論（大学院）		15	IPWのシステムとは何か、IPWのシステム開発とはどのようなことか自身の実践例を紹介したり、IPWに関連するキーワードについて話題提供し受講者と議論した。最終回の発表会はオンラインで実施し、教職員、大学院生に発表と議論を聴講してもらった。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	看護過程論		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。学内演習のグループを担当した。（対面）
2	看護方法Ⅰ（看護の基本技術）		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。学内演習のグループを担当した。（対面）
3	看護方法Ⅱ（日常生活援助技術A）		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。（対面）
4	看護方法Ⅲ（日常生活援助技術B）		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。（対面）
5	看護方法Ⅳ（診断治療の援助技術）		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。（対面）
6	看護方法Ⅴ（実践的看護展開）		3	アセスメントにもとづく看護実践のうち3コマを担当し、学生の発表にコメントした。（対面）
7	アカデミックリテラシー（編入生）		8	授業設計に参画し、LTD学習法や研究論文のクリティーク、発表会の企画運営を行った。（対面）
8	看護学特別研究（大学院）		月1～2回	ゼミに参加し、指導補助として研究指導を行った。（対面とオンライン）
9	看護学演習（看護管理システム）（大学院）		15	ゼミに参加し、指導補助として文献の読み方や研究方法の指導を行った。（対面とオンライン）

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		2022.9	ファシリテータとして2グループを担当し、ディスカッションが活発に行われるようにサポートした。（学内対面）

2	基礎看護学実習Ⅰ	○	2023.2	臨地実習と学内実習が円滑に実施されるよう計画・調整を行い、全体を統括した。学内演習を企画・実施した。		
3	基礎看護学実習Ⅱ		2022.10	病院で受け持ち実習の指導を行った。看護過程の展開に基づく看護の実践を意識できるように関わった。初めての受け持ち実習のため、患者とよりよい関係性が構築できるように見守った。		
4	総合実習		2022.7	遠隔での病棟指導者からの情報収集をもとにした看護過程の展開、学内演習・カンファレンスが円滑に実施されるよう計画・調整を行った。		
(4) 論文指導						
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文		2022.4-12	主指導	4名	副指導 名
2	修士論文		2022.4-2023.3	主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員) 2名
(5) その他						
	名称		期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	該当なし					
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	看護研究指導		神尾記念病院	外来、手術室、病棟の看護研究指導(毎月1回、対面)および看護研究発表会講師(1回)		2022.4-2023.2
2	認定看管理者教育課程ファーストレベル第1回		東京都看護協会	統合演習Ⅰ		2022.6
3	認定看護管理者教育課程ファーストレベル		宮城県看護協会	ヘルスケアシステム論Ⅰ		2022.6
4	感染管理認定看護師教育課程		沖縄県看護協会	チーム医療論		2022.6
5	認定看護管理者教育課程ファーストレベル		上尾中央医科グループ	統合演習Ⅰ		2022.8
6	新任副看護師長研修		独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)北海道東北地区・関東地区合同	ファシリテーションに関する基礎知識		2022.9
7	認知症看護認定看護師教育課程		獨協医科大学SDセンター	チーム医療論		2022.9
8	令和4年度キャリアラダー研修		越谷市立病院	ファシリテーションⅡ		2022.10
9	チーム医療推進協議会2022年度研修会		チーム医療推進協議会	多職種チームのメンバーとしての自己評価		2022.10
10	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第13回学術集会 メイン講演・鼎談 司会進行		埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	今後、求められるIPE/IPW		2022.11
11	人材育成事業		彩の国連携力育成プロジェクト	IPW総合課程		2022.8-12
12	人材育成事業		彩の国連携力育成プロジェクト	IPWカフェ(運営担当)		2022.2 2022.12
13	認定看管理者教育課程ファーストレベル		埼玉県看護協会	レポートの書き方		2022.12
14	認定看管理者教育課程ファーストレベル第2回		東京都看護協会	統合演習Ⅰ		2022.12
15	認定看管理者教育課程ファーストレベル		埼玉県看護協会	看護チームのマネジメント		2022.12
16	山梨県看護協会教育研修		山梨県看護協会	看護の現場で活かすファシリテータの役割		2023.1
17	2022年度全国キャラバン研修会・ジェネラルナースの技術力を高めよう		日本看護技術学会技術研究成果検討委員会	オンラインで移動動作技術が楽しく伝わる秘訣		2023.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本健康教育学会	代議員	2018.5-2022.5	
2	看護人間工学会	評議員	2019.5-2023.3	
3	看護人間工学会	総務委員	2019.5-2023.3	
4	日本人間工学会関東支部	第21期関東支部委員	2020.4-2022.6	
5	日本看護技術学会	評議委員	2020.6-2022.11	
6	日本人間工学会	第7期代議員	2020.6-2022.6	
7	日本看護技術学会	日本看護技術学会誌への投稿論文査読(2題)	2023.2	
8	日本看護技術学会第20回学術集会	一般演題「排泄/温めるケア」座長(オンライン)	2022.11	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	学生支援	看護学科4年担任長	2022.4-2023.3	
2	全学的委員会及びセンター業務等	IPE科目担当者会長	2022.4-2023.3	
3	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会	2022.4-2023.3	
4	全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト(大学間連携運営連絡会議)	2022.4-2023.3	
5	全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト(職能団体との意見交換会)	2022.5、12	
6	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員	2022.4-2023.3	
7	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会資格審査委員	2022.8	
8	国際交流活動	JIPWEN活動ならびにWHO協力センターに関する群馬大学との活動窓口	2021.7-2023.3	
9	大学広報活動	大学院博士前期課程概要説明動画作成	2022.11-12	
10	大学広報活動	就職支援PR映像制作協力	2022.12	
11	学科等における委員会等	県立病院機構と県立大学の連携(看護)メンバー	2022.4	
12	学科等における委員会等	総合実習基礎領域窓口担当	2022.1-7	
13	学科等における委員会等	日本看護学教育評価機構受審プロジェクトメンバー	2022.4-2023.3	
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	人間工学グッドプラクティス最優秀賞「動作補助手すり レストハンドRS-1 K型/Y型(立位サポート)」	日本人間工学会	2022.6	
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	公認心理師資格取得(第59194号、2022年10月5日登録)			